

第18課

読む・書く

えんぴつけず 鉛筆削り (あるいは 幸運として
わたなべのぼる の渡辺昇 ①)

- ・小説を読む
- ・登場人物の行動と心の内を追いながら、自由な解釈を楽しむ

話す・聞く

あなたこそ、あの本の山はいつ
たい何なの!

- ・文句を言ったり、言い返したりする
- ・謝ったり、相手を認めたりして、関係を修復する

読む・書く

1. 考えてみよう

- 1) あなたは何かを集めていますか。
それはどんなものですか。
それを集めようと思ったきっかけは何ですか。



- 2) 他^{ほか}の人が見たら変^{へん}だと思うようなものを集めている人を知っていますか。それはどんなものですか。

MP3 1-17 **2. 読もう**

読むときのポイント：

- ・ これは小説の文章です。まず、誰が何を、なぜそうしたのかを読み取りましょう。
- ・ 次に、この文章の何が、またはどこがおもしろいか考えてみましょう。

鉛筆削り (あるいは幸運としての渡辺昇①)

もし渡辺昇という人間がいなかったら、僕はおそらくまだにあの薄汚い鉛筆削りを使いつづけていたに違いない。渡辺昇のおかげで僕はぴかぴかの新品の鉛筆削りを手に入れることができたのだ。こんな幸運はそうざらにあることではない。

渡辺昇は台所に入ってくると、すぐにテーブルの上にある僕のその古い鉛筆削りに目をとめた。僕はその日気分転換のために台所のテーブルで仕事をしていたのだ。だから鉛筆削りはしょうゆさしと食塩の瓶のあいだに置かれていた。

渡辺昇は流し台の排水パイプを修理しながら——彼は水道関係の修理屋なのだ——ときどきテーブルの上をちらちらと横目で見ている。でもそのとき彼が鉛筆削りのマニアックなコレクターだなんて知る由もないから、彼がいったい何に興味を持ってテーブルの上に鋭い視線を走らせているのか、僕には見当もつかなかった。テーブルの上にはいろんなものが雑然とちらばっていたのだ。

「ねえ、ご主人、その鉛筆削りいいですねえ」とパイプの修理が終わったあとで、渡辺昇は言った。

「これ？」と僕はびっくりして、テーブル上の鉛筆削りを手にとった。それは僕が中学校時代から二十年以上ずっと使っているごくあたりまえの手動式の機械で、他のものに比べて変わったところなんて何ひとつない。金属部分はかなり錆びついているし、てっぺんには鉄腕アトム・シールなんか貼ってある。要するに古くて汚いのだ。

「それねえ、1963年型マックス PSD っていういいましてね、けっこう珍しいものなんです」と渡辺昇は言った。「刃のかみあわせ方が他のタイプのものとはちょっと違うんです。だから削りかすの形も微妙に違ってましてねえ」

「へえ」と僕は言った。

そのようにして僕は新品の最新式の鉛筆削りを手に入れ、渡辺昇は1963年型マックス PSD (アトム・シールつき) を手に入れた。渡辺昇はバッグの中にもいつも交換用の新品の鉛筆削りを入れて持ち歩いているのだ。くりかえすようだけれど、こんな幸運は人生の中でそう何度もあるものではない。

3. 確かめよう

1) 質問に答えてください。

- ① 「僕」^{ぼく}と渡辺昇^{わたなべのぼる}は、何と何を^{こうかん}交換しましたか。
- ② 「僕」^{ぼく}と渡辺昇^{わたなべのぼる}はどんな^{かんけい}関係ですか。
- ③ 「こんな^{こううん}幸運はそうざらにあることではない」とありますが、それは^{ぐたいてき}具体的にどんな幸運のことですか。

2) 「僕」について書かれているものには A を、渡辺昇について書かれているものには B を書いてください。

- ① 薄汚^{うすぎたな}い鉛筆削り^{えんぴつけず}を使っている。()
- ② ぴかぴかの最新式^{さいしんしき}の鉛筆削り^{えんぴつけず}を手に入れた。()
- ③ テーブルの上にある古い鉛筆削り^{えんぴつけず}に目をとめた。()
- ④ 鉛筆削り^{えんぴつけず}のコレクターである。()
- ⑤ 「その鉛筆削り^{えんぴつけず}いいですねえ」と言った。()
- ⑥ テーブルの上の鉛筆削り^{えんぴつけず}を手にと^とった。()
- ⑦ バッグの中^{なか}にいつも交換用^{こうかんよう}の鉛筆削り^{えんぴつけず}を入れて持ち歩いている。()
- ⑧ 1963 年型^{ねんがた}マックス PSD を手に入れた。()

3) 正しい答え^{えら}を選んでください。

- ① 「目をとめた」(4 行目^{ぎょうめ}) のは、どうしてですか。
 - a. 意外な場所^おに置いてあったから
 - b. 彼^{かれ}にとっては価値^{かち}を感じるもの^{かん}だったから
 - c. 20 年以上使われている古いもの^{ふるい}だったから
- ② 「ちらちらと横目^{よこめ}で見^みていた」(8 行目)
 - a. なんとなく見^みていた
 - b. じっと見^みていた
 - c. 遠慮^{えんりよ}しながらときどき見^みていた

4. 考えよう・話そう

- 1) この小説は、古い鉛筆削りと新しい鉛筆削りを交換してお互いに満足したという話です。鉛筆削りだけでなく、人によって価値観が違ふという経験をしたことがありますか。そのような経験から人の満足感とか、幸福感について話し合ってください。
- 2) 人によって、あるいは時代や文化によって価値観が異なるという具体例を、①～③についてそれぞれ挙げてください。
- ① 物
 - ② 人
 - ③ 行為、行動

5. チャレンジしよう

この小説の中の「僕」と渡辺昇の会話をシナリオにしてください。シナリオには、話し方（例：意外そうな声で）や動き（例：鉛筆削りを手に取って、いろいろな角度から見る）なども想像して書いてください。

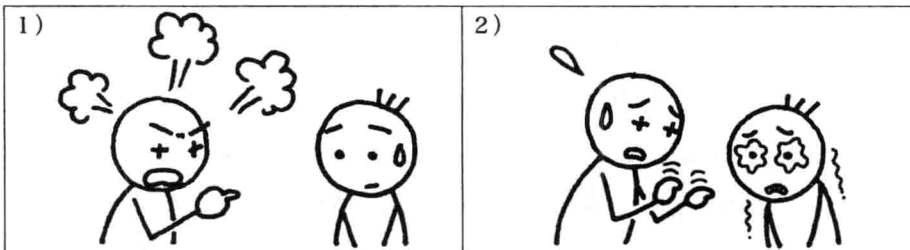
渡辺昇：ねえ、ご主人、その鉛筆削りいいですねえ。

（いい物を持っていていいなあ、といううらやましい気持ちで鉛筆削りをじっと見つめながら言う。）

僕：

1. やってみよう

- 1) あなたの友人はいつも忘れ物をして、あなたにいろいろな物を借ります。
今日もそんな友人にあなたはいらいらして、文句を言います。気に入らない点をたくさん言ってください。
- 2) 友人が泣きそうな顔をしています。言い過ぎたことに気がつきました。相手と仲直りしてください。



音频链接 (MP3 1-18)

2. 聞いてみよう <https://ttrw.jp/static/sound/sound202406141718354246.mp3>

聞くポイントを確認してから、聞きましょう。



ワット



いずみ

- 1) 内容を聞き取りましょう。
- ① 最初に不満を言ったのはどちらですか。どんなことを言いましたか。
 - ② 相手はそれに関してどんな言い訳をしましたか。
 - ③ 物をとっておくことについて2人はどう考えていますか。
 - ④ いずみさんは何についてワットさんを非難しましたか。
 - ⑤ 最後に2人は仲直りしましたか。
- 2) 表現を聞き取りましょう。
- どう言いましたか。
- ① ワットさんがはじめにいずみさんに皮肉を言うとき
 - ② ワットさんがいずみさんに文句を言うとき
 - ③ いずみさんがワットさんに言い返すとき
 - ④ ワットさんが謝るとき
 - ⑤ いずみさんが謝るとき

MP3 1-18 **3. もう一度聞こう**

_____の部分に言葉を書いてください。

【ワット家のダイニングキッチンで】

いずみ： あれっ、この前メキシコで買ってきたワイングラス、どこにしまったかな。
 たし 確かこの辺に入れたはずだけど。

ワット： また探し物？①_____。

いずみ： あ、あった、あった。

ワット： ねえ、いずみ。②_____？ こんなにたくさん要らないだろう。あつ、このコーヒーカップなんか、欠けてるじゃないか。捨てたら？

いずみ： ああ、それ？ それは結婚してはじめて買ったものなのよ。

これを見るたびに、あのころのこと思い出すの……。捨てられないわ……。

ワット： しまい込んだまんま一度も使ってないものもいっぱいあるじゃない。

いずみ： ③_____、このお皿もお茶碗も新婚時代の思い出がいっぱいなんだ④_____。

ワット： その気持ち、分からないわけじゃないけど……。もうちょっと整理すれば？
 ⑤_____、ここにあるスーパーの袋の山、⑥_____。

いずみ： あら、袋だって必要なのよ。

ワット： うーん。あれも大切、これも必要だからってとつといて、結局捨てちゃうってことになるんじゃないの？ だったら、思い切って捨てたほうがいいよ。

いずみ： そんな、もったいない。置いとけば、何かのときに役に立つかもしれないし。
 ⑦_____、あの本の山は⑧_____！⑨_____？

ワット： それとこれとは話が違うだろ！ そもそも、ふだん使わないものをしまつといたところで、場所をとるだけだよ。⑩_____よ。

いずみ： ⑪_____！！

……………

ワット： ⑫_____。いずみが物を大事にするってことはよく分かってるよ。

いずみ： ううん、⑬_____。あなたの言うとおりに、上手に捨てるってことも確かに必要かもね。

ワット： そうだね。……今度の日曜に、いっしょに整理してみよう。

いずみ： うん、そうね。

さあ、食事にしましょう。ワインの栓、抜いてくれる？

4. 言ってみよう

絵を見ながら発音やイントネーションに注意し、MP3のとおりに言ってみましょう。



5. 練習しよう

●と○はお互いに相手のすることが気に入らないので、不満や文句を言ってけんかしますが、最後には謝って、仲直りします。

例：●はよく約束の時間に遅れて来る。今日も30分遅刻した。

しかし、○もよく急な仕事で約束をキャンセルする (●○：恋人同士)

〈場面1〉

●：ごめんね。遅れちゃって。

○：しょっちゅう遅れるね。ケータイで連絡ぐらいできるんじゃない？

●：連絡しようと思ったんだけど、ケータイ、忘れちゃって……。

○：え、また？ この前は電池が切れてたって言ったよね。

だいたい君はいつも遅刻して平気なんだ。おまけに連絡する気もないんだ。

●：そんなに言わなくたっていいじゃない。私だって、急いで仕事を片づけて飛んできたのに。あなたこそ、急用ができたからって、何回約束をキャンセルしたか分からない。お互いさまなんじゃない？

〈場面2〉

○：ごめん。……ちょっと言い過ぎたみたいだね。君と会えるのをすごく楽しみにしていたんだ。この前は僕の都合で会えなかったんだし……。

●：うん、私こそ、遅れて、ごめん。ケータイを忘れちゃうなんて、バカだよ。

○：ところで、今日は何、食べようか。

●：そうね。何がいいかな。

(1) デート中だが、●はケータイを見てばかりいる。○も電話を受けて話を中断することが多い (●○：恋人同士)

○：いつまでケータイ触ってるつもり？ しょっちゅうケータイのぞいてるって失礼だよ。

- (2) シェアハウスに住んでいるが、●はいつも自分の持ち物を居間に散らかしっぱなしにして片づけないので、居間が乱雑だ。○は本や雑誌をたくさん持っていて、廊下にも並べている。通るのに邪魔だ(●○:友人同士)
- :ちょっと、このかばん、いつも置きっぱなしだけど、片づけてくれない。

6. チャレンジしよう

夫婦げんかをします。最後に仲直りしてください。

妻: 夫は今までいた部屋を出るとき、いつもテレビや電気をつけっぱなしにしておきます。今日も夫は居間のテレビをつけっぱなしで他の部屋へ行こうとしました。文句を言ってください。文句を言いながら、夫が歯を磨くときは水を出しっぱなし、着替えるときは服を脱ぎっぱなしにすることも思い出してください。

夫: 妻が買い物好きで必要ないものまで安いからといって買ってくるのが気に入りません。文句を言ってください。辺りを見ると、買ってきたまま、全然使っていないものがたくさんあります。

文法・練習

読む・書く

1. 僕はおそらくあの薄汚い鉛筆削りを使いつづけていたに違いない。

- 1) 渡辺さんは時間が守れない人だ。今日もきつと遅れてくるに違いない。
- 2) 山本監督の映画ならきつとおもしろいに違いない。
- 3) あの公園の桜はもう散っているに違いない。

練習1 例：冷蔵庫に入れておいたケーキがない。誰かが食べたに違いない。

- 1) 入口に置いておいた傘がない。誰かが _____ に違いない。
- 2) あのパン屋はいつも大勢の人が並んでいる。よほど _____ に違いない。
- 3) あの大学の学生ならきつと _____ に違いない。

練習2 例：こんなところに携帯電話の忘れ物がある。

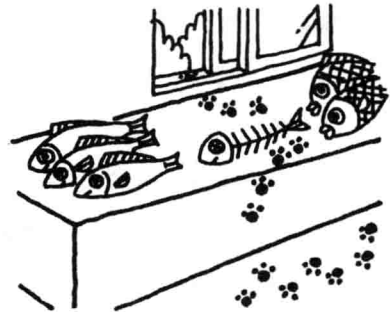
持ち主は今ごろ必死になって探しているに違いない。

- 1) おとといけんかをしてから、山田さんは口をきいてくれない。
まだ _____ に違いない。
- 2) 彼は走るのも跳ぶのもすごい。 _____ に違いない。

練習3 右のような状況を見て、犯人について推測し

てみてください。

例：犯人は魚が好きに違いない。



2. 僕の鉛筆削りは手動式の機械で、他のものに比べて変わったところなんてない。

- 1) 今年は去年に比べて春の来るのが遅かった。
- 2) 電子辞書で調べたことは紙の辞書に比べると記憶に残りにくい気がする。
- 3) 郊外は都心に比べて緑が多い。

練習1 例：そばはうどんに比べて健康にいいと言われている。

- 1) 週末は平日に比べると_____。
- 2) 私の国は_____に比べて_____。
- 3) スーパーはデパートに比べると、_____。

練習2 あるもののいい点を、他のものと比べながら、紹介してください。

例：奈良と京都について話します。奈良も京都も昔、日本の都があった町で、お寺や神社など文化遺産がたくさんあります。どちらも世界的に有名ですが、私は奈良のほうが好きです。奈良は京都に比べて静かで、観光客がやや少ないので、ゆっくり見学できます。それに、自然も豊かでハイキングにもいいところがあります。みなさん、機会があればぜひ行ってみてください。

18

3. **こんな幸運は人生の中でそう何度もあるものではない。**

- 1) 人は変わるものだ。
- 2) お金って、なかなか貯まらないもんですね。
- 3) 日本語で日常的に使われる漢字は2000字以上ある。1年や2年で覚えられるものではない。
- 4) 甘いものは一度にたくさん食べられるものじゃない。

練習1 例1：親 子ども 幸せ 願う → 親は子どもの幸せを願うものだ。

例2：人 悪口 言う → 人の悪口を言うものではない。

- 1) 孫 子ども かわいい →
- 2) 経済成長 永遠に 続く →
- 3) 病気になる 健康 大切さ わかる →
- 4) 都合 聞かずに 人のうち 訪問する →

練習2 例：人の運命は分からないものだ。

- 1) 女友達の結婚式に_____ものではない。白は花嫁の色だから。
- 2) 「夢は必ずかなう」なんて言うけど、_____もんじゃないよね。
- 3) 「人のうわさも75日」と言って、人は_____ものだ。

練習3 AさんとBさんは友人です。Aさんは不平不満を言ってください。Bさんは適切なアドバイスをしてあげてください。

例：A：背が低いからバスケットボールの代表選手になれなかった。

B: 身長しんちようのせいにするもんじゃないよ。君きみと同じせぐらいの背で、プロで活躍かつやくしている選手せんしゆもいるじゃない。今回こんかい代表だいひように選ばえられなかつたのは残念ざんねんだけど、これからかんばも頑張がんばつてよ。チャンスっていつかは来るもんだよ。

話す・聞く

4. ワイングラス、どこにしまったかな。あ、あつた、あつた。

- 1) チロ!チロ! どこにいるんだ。おー、いた、いた。こんなとこにいたのか。
- 2) ほら、見てごらん。あそこに小さな島しまが見えるだろう。
…ええ? どこ? 見えないよ。あ、見えた。あれ?



『経済学けいざいがくの基礎きそ』って本、置いてないかな、古い本だけど……。あ、あつた。

- a. (古本屋こほんやで) あ、探さがしていた本があつた。
- b. 昨日きのう古本屋へ行いったら、探さがしていた本があつた。

5. だって、このお皿さら、新婚時代しんこんじだいの思い出おもひでがいっぱいなんだもの。

- 1) どうしてケータイばかり見ているの?
…だって、することがないんだもの。
- 2) どうしてうそをついたの?
…だって、だれも僕ぼくの言うことを聞いてくれないんだもん。



母: どうして居間いまで勉強べんきやうするの。自分の部屋へやがあるでしょう。

- 子: だって、私の部屋へや、寒いんだもん。
- a. どうしてかって、私の部屋へや、寒いから。
 - b. でも、私の部屋へや、寒いはずよ。

6. ふだん使つかわないものをしまつといたところで、場所をとるだけだよ。

- 1) いくら状じやうきやう況きやうを説明せつめいしたところで、警察けいさつは信しんじないだろう。
- 2) きれいに片かたづけたところで、子どもがすぐ散ちらかすんだから意味いみがないよ。



大きい家を建てたところで、最後さいごは夫婦ふうふ2人になって、広ひろすぎて維持いじが大変たいへんなだけだよ。

- a. この人は家を建てることに賛成さんせいであるが、大きい家を建てることには反対はんたいである。
- b. この人は大きい家を建てることだけでなく、家を建てることに反対はんたいである。

7. ここにあるスーパーの袋の山、何だよ。

…あら、袋だって必要なのよ。

- 1) 日本語は漢字が難しいかもしれないけど、韓国語だって発音が難しい。
- 2) 鈴木さんはスポーツが得意だから、サッカーだって野球だって何でもできます。
- 3) 父は毎朝早く仕事に出掛けます。今日だって朝6時に家を出ました。

練習1 例：年末は 日曜日 仕事 出掛けなければならない

→ 年末は、日曜日だって仕事に出掛けなければならない。

- 1) 大人 ときどき 仕事 休みたい なる →
- 2) 日本 コンビニ ケータイ 料金だけでなく 税金 払う できる →
- 3) 太郎君 スポーツ 得意 勉強 頑張っている →

練習2 例：田中：鈴木さん、その眼鏡、かっこいいね。

鈴木：田中さんだって、そのネクタイ、おしゃれじゃないですか。

- 1) 携帯電話で、_____ だって調べることができるんですよ。
- 2) ニューヨークやロンドンみたいに、東京にだって、_____。

8. あなたこそ、あの本の山はいったい何なの！

- 1) どうぞよろしくお願ひします。…こちらこそどうぞよろしく。
- 2) ずいぶん長いことお祈りしてたね。
…今年こそ、いい人に出会えますようにってお願いしてたの。
- 3) どんな言語もコミュニケーションに使えてこそ意味があるのであって、試験に合格しても実際に使えなければ意味がありません。

練習 例：この歌 今 泣いている あなた 聞く ほしい

→ この歌は今泣いているあなたにこそ聞いてほしいのです。

- 1) この人 ノーベル賞 もらう ふさわしい 人 →
- 2) 技術において 世界一 ならないと 日本 将来 暗い →
- 3) あなたのこと 愛しているから うるさい 言う →

問題

音频链接 (MP3 1-19)

<https://ttrw.jp/static/sound/sound202406141718354323.mp3>

MP3 1-19 I. 1. () と ()

2. 1) () 2) () 3) () 4) ()

II 1. 文章を読んで答えてください。

「もしもし、5721 の 1251 でしょうか？」と女の声が言った。

「そうです。5721 の 1251 です」

「突然ごめんなさい。実は私、5721 の 1252 に電話をかけてたんです」

「はあ」と私は言った。

「朝からもう三十回くらいずううっとかけているんです。でも出ないんです。

ええーと、たぶん旅行にでも出かけているのかもしれないね」

「それで？」と私は聞いてみた。

「それですね、まあいわば隣りみたいなものだから、ちょっと 5721 の 1251 にかけてみようかなあって思ったんです」

「はあ」

女は小さな咳払いをした。「私、昨夜バンコックから戻ってきたばかりなんです。とおおとおおってもすごいことがバンコックであったんですよ。超信じられないようなこと。ものすごくおおおいこと。それであっちに一週間いる予定だったのを、三日で切り上げて帰って来たわけ。それで、その話をしようと思ってずっと 1252 にかけていたの。誰かに話さないととても寝られそうにないし、かといって誰にでもできる話じゃないし。それでひょっとしたら 1251 の人が聞いてくれるかなあって思ったりしてえ」

「なるほど」

「でも私、ほんとうは女の人が出るんじゃないかなあって思ってたんです。女の人の方がこういう話ってしやすいんじゃないかなあって思うし」

「それはどうも」と私は言った。

「あなた、おいくつ？」

「先月で三十七になりました」

「うーん、三十七か。もう少し若いほうがいいような気もしちゃうんだなあ。ごめんなさいね。こんなこと言って」

「いえ、いいですよべつに」

「ごめんなさいね」と彼女は言った。「5721 の 1253 を試してみることになります。じゃあね」

というわけで、バンコックで何が起こったのか、私にはとうとうわからずじまいだった。

(むらかみはる むらかみあき ひ どうちようたんべんしやうせつ よる 村上春樹『村上朝日堂超短編小説 夜のくもざる』「バンコック・サプライズ」しんちやうぶん こ 新潮文庫)

1) この話の中の「会話」の場面は次のどれですか。



2) 下線部「それはどうも」のあとに「私」は何と言いたかったでしょうか。

- ① 「私」に話してみてもはどうですか。
- ② 「私」が男でも女でも同じだと思いますよ。
- ③ 「私」が男であいにくでしたね。

3) 本文の内容と合っていれば○、違っていれば×を書いてください。

- ① () 電話をかけた人は誰でもいいからバンコックのことを話したかったのだ。
- ② () 電話をかけた人は次に 5721 の 1253 に電話をかけるだろう。
- ③ () 5721 の 1251 の人はバンコックであつたことに興味を持ったにちがいない。

2. ①、②に最も適切な言葉を選んでください。

父の趣味は人生を励まし励まされる言葉を集めることで、もう千を超える言葉を集めている。その中から父が口癖のように私たちに言って聞かせるものを紹介しよう。

- ・何かを習得したいときは、人(①)自分がどうかなどと考えるはいけない。昨日の自分(①)今日の自分はどうかを考えなさい。
- ・死にたいという人がいたら、「どうしても死にたいなら、1年後にしなさい。1年もたてば、すべてが変わってくる。人間にとって時の流れほど強い味方はない(②)から」と言ってやりなさい。

- ① と比べて とともに としては
- ② みたいだ ものだ そうだ

第 18 课 学习辅导用书 新单词

読む・書く

鉛筆削り	えんぴつけずり	铅笔刀
幸運	こううん	幸运
登場人物	とうじょうじんぶつ	出场人物
内[心の～]	うち[こころの～]	里面[心の～ / 内心]
解釈[する]	かいしゃく[する]	解释
山[本の～]	やま[ほんの～]	山[本の～ / 书本堆积如山]
言い返す	いいかえす	反驳
修復[する]	しゅうふく[する]	修复
おそらく		大概、恐怕
薄汚い	うすぎたない	脏乎乎[的]、污秽[的]
ぴかぴか[な]		亮锃锃的
新品	しんぴん	新品
手に入れる	てにいれる	拿到手、弄到手
ざらに		多、常见、不稀奇(俗语)
目をとめる	めをとめる	注视、留意
しょうゆさし		酱油壶
食塩	しょくえん	食盐
流し台	ながしだい	洗菜池、洗碗池
排水パイプ	はいすいパイプ	排水管
排水	はいすい	排水
修理屋	しゅうりや	修理工、修理店
ちらちら		时隐时现、时有时无
マニアック		狂热的
コレクター		收集者
知る由もない	しるよしもない	没法知道
鋭い	するどい	尖锐[的]
視線	しせん	视线
走らす[視線を～]	はしらす[しせんを～]	快速浏览[視線を～ / 扫视一下]
見当	けんとう	估计、推测

つく[見当が~]	[けんとうが~]	得到[見当が~ / 能估计到]
雑然	ざつぜん	杂乱、乱七八糟
ちらばる		摆放零乱
手に取る	てにとる	拿起
ごく		极其
あたりまえ		常见、普通
手動式	しゅどうしき	手动式
何ひとつない	なにひとつない	什么也没有
金属	きんぞく	金属
錆びつく	さびつく	锈住
錆びる	さびる	生锈
てっぺん		顶端
シール		封条
要するに	ようするに	总而言之
刃	は	刃、刀刃
かみあわせ		咬合
タイプ		型号、类型
削りかす	けずりかす	刨下来的木屑
微妙[に]	びみょう[に]	微妙[地]
最新式	さいしんしき	最新式
持ち歩く	もちあるく	随身携带
超~[~短編小説]	ちょう~[~たんぺん しょうせつ]	超……[~短編小説 / 超短篇小说]
短編小説	たんぺんしょうせつ	短篇小说
意外[な]	いがい[な]	意外[的]
満足[する]	まんぞく[する]	满意、心满意足
価値観	かちかん	价值观
異なる	ことなる	不同
行為	こうい	行为
シナリオ		脚本、剧本
角度	かくど	角度
うらやましい		羡慕
じっと		一动不动
見つめる	みつめる	凝视、注视

話す・聞く

いらいら[する]

気に入る

仲直り[する]

不満

非難[する]

皮肉

ワイングラス

捜し物

しょっちゅう

欠ける[カップが～]

しまい込む

だって

新婚

思い出

思い切る

そもそも

とる[場所を～]

栓

抜く[栓を～]

平気[な]

おまけに

気がない

そんなに

中断[する]

のぞく

シェアハウス

散らかす

乱雑

きにいる

なかなかおり[する]

ふまん

ひなん[する]

ひにく

さがしもの

かける

しまいこむ

しんこん

おもいで

おもいきる

[ばしょを～]

せん

ぬく[せんを～]

へいき[な]

きがない

ちゅうだん[する]

ちらかす

らんざつ

坐立不安

中意、看中

修复关系

不满

指责

挖苦、讽刺

喝葡萄酒的酒杯、高脚酒杯

要找的东西

经常、老是

缺口[カップが～ / 杯子有了缺口]

收拾起来

即使……也……

新婚

回忆

断然、果断

本来、毕竟

占[場所を～ / 占地方]

瓶塞、栓

拔掉[栓を～ / 拔掉瓶塞]

不在乎、无所谓

加之、而且

不打算、没心思

那么

中断

看一看

合租房

乱扔、弄乱

杂乱

文法・練習

監督

持ち主

きく[口を～]

かんとく

もちぬし

[くちを～]

导演

物主、持有人

说[口を～ / 搭理、相互说话、对话]

跳ぶ	とぶ	跳
推測[する]	すいそく[する]	推测
花嫁	はなよめ	新娘
かなう		如愿以偿
不平	ふへい	不满意、牢骚
活躍[する]	かつやく[する]	活跃、大显身手
基礎	きそ	基础
置く[本屋に～]	おく[ほんやに～]	放[本屋に～ / 摆放到书店]
維持[する]	いじ[する]	维持
おしゃれ		时髦、爱打扮
コミュニケーション		语言交流
ふさわしい		合适、相称
問題		
出し忘れる	だしわすれる	忘了拿出来
素直[な]	すなお[な]	坦率[的]、诚恳[的]、纯朴[的]
癖	くせ	毛病、癖好
ずっと(ずうっと)		……得多、一直
いわば		可以说、比如
咳払い	せきばらい	故意咳嗽、清嗓子、干咳
昨夜	さくや	昨晚
ものすごい		惊人的
試す	ためす	尝试
超える	こえる	超越
口癖	くちぐせ	口头禅
習得[する]	しゅうとく[する]	学会、掌握
味方	みかた	自己人、我方

しょっちゅう…ね。

你怎么总是……呀。

对对方平时常做的某些事情表示不满

…んじゃない?

不是可以……吗? / 完全可以……嘛。

提出解决方案或说明某种情况

だいたい〜は…んだ。

总的说来，几乎都是……

向对方举证说出自己不满的原因

そんなに言わなくたっていいじゃない。

你也不必这么说吧。/ 不至于像你所说的那样吧。

在被他人批评或指责后，反击时使用

お互^{たが}いさまなんじゃない？

彼此彼此，咱们都差不多吧？

表示对方也有过失

ごめん。…ちょっと言い過ぎたみたいだね。

对不起，我说……好像有点儿言过其实了。

为了结束吵架而道歉时使用

私こそ、〜て、ごめん。

我也是，……有做的不对的地方，对不起。

当对方向自己道歉时，承认自己也有过错的表达方式

18

わたなべのぼる
渡边 昇

てつわん
『鉄腕アトム』

渡边升：村上春树（むらかみ・はるき 1949—）的超短篇小说中的人物。

铁臂阿童木：手冢治虫（てづか・おさむ 1928—1989）创作的科幻漫画中的主角。

読む・書く

1. ^{ぼく} 僕はおそらくあの^{うすぎたな} 薄汚い^{えんぴつけず} 鉛筆削りを使いつづけていたに^{ちが} 違いない。

普通形

$$\left. \begin{array}{l} \text{なA} \\ \text{N} \end{array} \right\} \begin{array}{l} \text{-だ} \\ \text{-である} \end{array} \rightarrow \left. \begin{array}{l} \text{-} \\ \text{-} \end{array} \right\} \text{+ に違いない}$$

该句型表示说话人确信的事情。意思是“肯定……”“一定……”。

- ① ^{わたなべ} 渡边さんは時間^{まも}が守れない人だ。今日もきつと^{おく}遅れてくるに違いない。

渡边是个不守时的人，今天也一定会迟到的。

- ② ^{やまもとかんたく} 山本監督の映画ならきつとおもしろいに違いない。

如果是山本导演的电影，肯定有意思。

- ③ ^{こうえん} あの公園の桜^{さくら}はもう^ち散っているに違いない。

那个公园的樱花肯定已经谢了。

「はずだ」有类似的意思，但「はずだ」表示的是经过计算或依据知识、逻辑等得出的结论。相比之下，「に違いない」表示凭直觉确信某事，如例句④所示。

- ④ ^{かれ} 彼を一目見て、親切な人 {○に違いない/×のはずだ} と思った。

我只看了他一眼，就认为他一定是个热情的人。

2. ^{しゅどうしき} 僕の鉛筆削りは手動式の機械で、^{ほか} 他のもの^{くら}に比べて^か変わったところなんてない。

N + に比べて/比べると

「XはYに比べて/比べると…」表示把X与Y进行比较，后面常接续表示某种程度的内容。即使换成「～より」的说法，多数情况下意思也不会改变。意思是“与……相比”。

- ① 今年^{おそ}は去年に比べて春の来るのが遅かった。

今年与去年相比，春天来的比较晚。

- ② ^{でんしじしょ} 電子辞書で調べたことは紙^{しら}の辞書に比べると^{きおく} 記憶^{のこ}に残りにくい気がする。

我觉得用电子词典查，不如用纸质词典查更容易记住。

- ③ ^{こうがい} 郊外は都心^{みどり}に比べて緑が多い。

郊区比市区的绿色植物更多。

3. こんな^{こうラ}幸運は人生の中でそう何度もあるものではない。

V 词典形	} + ものだ
V ない形 -ない	
いA	
なA -な	

(1) 「XはYものだ」表示X的本质及倾向。口语中有时会用「もんだ」的形式。意思是“……本来就是……”“……就是……”。

① 人は変わるものだ。

人本来就是多变的。

② お金って、なかなか貯まらないもんですね。

钱这东西真是很难存啊!

由于该句型仅用于叙述一般的事物，所以X处不能是专有名词等特定的人或物。

× 田中先生は変わるものだ。

否定的用法里，有「～ものではない」和「～ないものだ」两种用法，前者的否定意思要稍微强一点儿。

③ 日本語で日常的に使われる漢字は2,000字以上ある。1年や2年で覚えられないものではない。

在日语中，日常使用的汉字超过2000个。(只用)一两年时间是没办法全部记住的。

④ 甘いものは一度にたくさん {食べられるもんじゃな/食べられないもんだ}。

甜食一次不能吃太多。

(2) 「～ものだ」还有一种用法，是从上述表示本质和倾向的用法中引申出的，表示理想的状态或本来应该做的行为，其意思近似「～べきだ」。意思是“应该……”。

⑤ 学生は勉強するものだ。

学生就应该学习。

⑥ 出された食事は残すものではない。

不应该剩下餐盘里的饭菜。

話す・聞く

4. ワイングラス、どこにしまったかな。あ、あった、あった。

用像「いた」「あった」「見えた」这样的过去形，表示要找的东西找到了，或表示注意到了之前没有注意到的状态。意思是“(宠物、物品等)找到了、看到了”。

① チロ!チロ!どこにいるんだ。おー、いた、いた。こんなとこにいたのか。

奇洛! 奇洛! 在哪里啊? 哦, 找到了, 找到了。原来躲在这样的地方。

② —ほら、見てごらん。あそこに小さな島が見えるだろう。

—ええ? どこ? 見えないよ。あ、見えた。あれ?

—你看! 那里有个小島吧?

—啊? 哪里? 看不到啊。啊, 看到了。怎么回事?

5. **だって、このお皿、新婚時代の思い出がいっぱいなんだもの。**

「だって、…もの」是叙述理由的用法, 说话人用它来强调行为的正当性或为自己辩解等, 是比较随意的表达形式, 不可以用于正式的情况。意思是“因为……嘛”“因为……啊”。

① —どうしてケータイばかり見ているの?

—だって、することがないんだもの。

—你怎么老是看手机呢?

—因为我没事可做啊。

② —どうしてうそをついたの?

—だって、だれも僕の言うことを聞いてくれないんだもん。

—你为什么耍撒谎呢?

—谁叫你们都不听我的话嘛。

6. **ふだん使わないものをしまっところ、場所をとるだけだよ。**

「XたところでY」表示「もしXてもY(不好的结果)になる」这样的意思。想说「Xする必要はない」时使用。意思是“即使……, 也……”“再怎么……, 也……”。

① いくら状況^{じょうきょう}を説明したところで、警察^{けいさつ}は信じないだろう。

再怎么说明情况, 警察也不会相信的吧。

② きれいに片づけた^{かた}ところで、子どもがすぐ散らかす^ちんだから意味がないよ。

即使收拾得再干净, 小孩子也会很快弄乱的, 所以收拾也没有用啊。

7. ここにあるスーパーの袋^{ふくろ}の山、何^{なん}だよ。
 …あら、袋^{ひつよう}だって必要なのよ。

N
 N + 格助词 } + だって

「XだってY」这个句型在表达「XであればYではないだろう」这样的跟预想相反的事情时使用。

- ① 日本語は漢字が難^{むずか}しいかもしれないけど、韓国語^{かんこくご}だって発音が難しい。
 日语汉字也许比较难，但韩语的发音也很难。

另外像例句②那样，有几个「だって」并列在一起使用的情况。

- ② 鈴木^{すずき}さんはスポーツが得意^{とくい}だから、サッカーだって野球^{やきゅう}だって何^{なん}でもできます。
 铃木在体育方面很强，所以不管是足球还是棒球，样样都拿手。

另外像例句③那样，也不一定跟预想相反，在「XだってY」的句型里，想强调X非常Y时也可使用。

- ③ 父は毎朝早く仕事に出掛^{でか}けます。今日だって朝6時に家を出ました。
 父亲每天很早就出门上班。今天也是早上6点钟就出门了。

8. あなたこそ、あの本の山はいったい何なの！

N
 N + 格助词 (に・で)
 Vて形
 普通形 + から } + こそ

「XこそY」这个句型用来强调「他のものではなくXがYだ」。意思是“……才”“……就是”。

- ① —どうぞよろしくお願^{ねが}いします。
 —こちらこそどうぞよろしく。
 —请多多关照。
 —彼此彼此，我才要请你多多关照。
- ② —ずいぶん長いことお祈^{いの}りしてたね。
 —今年こそ、いい人に会えますようにってお願いしてたの。
 —你祈祷的内容好长啊。
 —我刚才在祈祷今年遇到心仪的对象。

X除了可以是表示人或物的名词以外，还可以是“名词+格助词”，以及表示状态的「～て」或者表示理由的「～から」等等形式，有各种各样的用法。

- ③ この本は子ども向け^むだが、逆^{ぎやく}に、大人にこそ読んでもらいたい。
 这本书虽然是儿童读物，但我反而就是希望大人们来读一读。

- ④ どんな言語もコミュニケーションに使えてこそ意味があるのであって、試験に合格しても実際に使えなければ意味がありません。

无论什么样的语言，只有能用来交流才有意义，即使考试及格，如果不会实际运用（这些语言）的话也没有什么意义。

- ⑤ あの人が嫌いなのではない。好きだからこそ冷たい態度をとってしまうのだ。

我不讨厌他。正是因为喜欢他我才采取冷淡的态度。